

令和 8 年度

事業概要

令和 8 年 4 月

国土交通省 中部地方整備局
愛知国道事務所

令和 8 年度
愛知国道事務所 事業概要

目次

1. 愛知国道事務所の事業・調査路線	・・・・・・・・P	2
2. 令和 8 年度の事業内容		
令和 8 年度事業費（事業箇所別）	・・・・・・・・P	4
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状 2 号線（名古屋西～飛島）	・・・・・・・・P	5
国道 3 0 2 号 名古屋環状 2 号線・愛知 3 0 2 号環境対策	・・・・・・・・P	6
国道 4 1 号 名濃バイパス	・・・・・・・・P	7
国道 2 4 7 号 西知多道路（東海ジャンクション）	・・・・・・・・P	8
国道 2 2 号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）	・・・・・・・・P	9
国道 3 0 2 号 東部共同溝	・・・・・・・・P	10
3. 主な調査路線		
一宮西港道路	・・・・・・・・P	11
4. その他取組		
「けんせつ小町・チーム “愛” 」	・・・・・・・・P	12

2. 令和8年度の事業内容

○道路改築事業

近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）

- ・事業損失補償等を推進

※名古屋第二環状自動車道（名古屋西～飛島）は令和3年5月1日に開通

国道302号 名古屋環状2号線

西南部・南部Ⅱ区間

- ・完成4車線化に向け、道路詳細設計、調査設計（協議用資料作成等）、かの里地区ほか改良工、かの里地区ほか遮音壁工、大西地区舗装工を推進

東北部区間

- ・完成4車線化に向け、調査設計（協議用資料作成等）、名鉄瀬戸線鉄道立体工、守山地区改良工、白沢川橋橋梁上部工、守山地区舗装工、春日井地区改良工、春日井地区舗装工を推進

西北部区間

- ・名鉄名古屋本線の踏切除却に向け、調査設計（協議用資料作成等）、名鉄本線仮線工を推進
- ・名鉄津島線の踏切除却に向け、調査設計（協議用資料作成等）を推進
- ・JR東海道本線との交差部の2期線整備に向けた調査設計（協議用資料作成等）を推進

国道22号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）

- ・道路予備設計、道路詳細設計、地質調査、調査設計（協議用資料作成等）

国道41号 名濃バイパス

- ・調査設計（協議用資料作成等）、扶桑地区ほか改良工を推進

※令和6年2月20日に6車線化完了

国道247号 西知多道路（東海ジャンクション）

- ・橋梁詳細設計、調査設計（協議用資料作成等）、荒尾地区ほか改良工、Hランプ橋ほか橋梁上部工、Eランプ橋ほか橋梁下部工を推進

○共同溝事業

国道302号 東部共同溝

- ・本体工事、調査設計を推進

■ 令和8年度事業費（事業箇所別）

箇所名	事業費 (百万円)		
	令和7年度	令和7年度 補正	令和8年度
○改築事業	10,832	1,780	10,581
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）	40	-	10
国道302号 名古屋環状2号線	5,313	1,330	5,283
国道302号 環境対策	63	-	63
国道22号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）	100	110	180
国道41号 名濃バイパス	290	-	353
国道247号 西知多道路（東海ジャンクション）	5,026	340	4,692
○共同溝事業	832	-	603
国道302号 東部共同溝	832	-	603
事務所計	11,664	1,780	11,184

○受託・附帯	560	-	500
事務所計（受託・附帯含む）	12,224	1,780	11,684

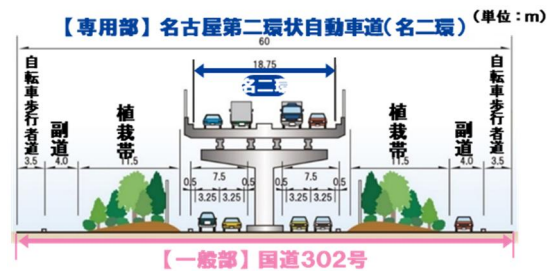
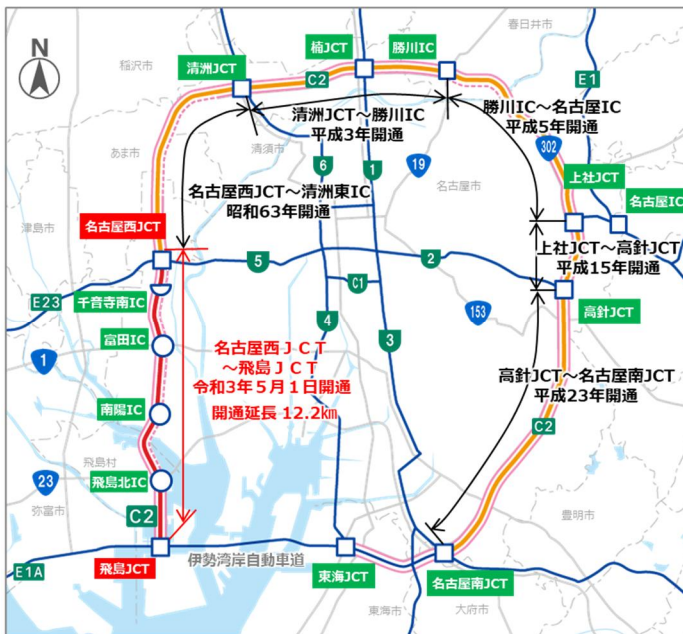
近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）

近畿自動車道伊勢線は、名古屋市から伊勢市に至る延長約81kmの高速自動車国道であり、名古屋環状2号線（専用部）の一部区間を形成しています。

本事業は、名古屋都市圏をネットワークとする主要幹線道路のひとつとして、交通分散による都市内交通の渋滞緩和、国際拠点の名古屋港や中部国際空港へのアクセス強化及び災害に強い道路機能の確保を目的とした事業であり、名古屋西JCT（ジャンクション）から飛島JCTまでの約12.2km区間において、中日本高速道路（株）と合併施行による整備を行い、令和3年5月1日に開通しました。

令和8年度は、事業損失補償を推進

■位置図



南陽 IC 付近を撮影 (R4. 9 月)



飛島北 IC 付近を撮影 (R4. 11 月)

国道302号 名古屋環状2号線・愛知302号環境対策

名古屋環状2号線は、名古屋市の外周部を通り、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路と主要地点で連結し、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす総延長約66kmの環状道路であり、大都市圏の環状道路として、都市内交通の渋滞緩和を図るとともに、沿道環境改善にも大きな役割を果たす道路です。一般部と呼んでいる国道302号と専用部と呼んでいる名二環（名古屋第二環状自動車道）が立体的に並行（複断面構造）しています。

令和8年度は、以下の事業内容を実施します。

- ・西南部・南部Ⅱ区間は、4車線化に向け、道路詳細設計、調査設計（協議用資料作成等）、かの里地区ほか改良工、かの里地区ほか遮音壁工、大西地区舗装工を推進
- ・東北部区間は、名鉄瀬戸線の踏切除却に向け、名鉄瀬戸線鉄道立体工、4車線化に向け、守山地区改良工、白沢川橋橋梁上部工、守山地区舗装工、春日井地区改良工、春日井地区舗装工、調査設計（協議用資料作成等）を推進
- ・西北部区間は、名鉄名古屋本線の踏切除却に向け、調査設計（協議用資料作成等）、名鉄本線仮線工を推進
名鉄津島線の踏切除却に向け、調査設計（協議用資料作成等）を推進
JR東海道本線との交差部の2期線整備に向けた調査設計（協議用資料作成等）を推進

位置図



【東北部：名鉄瀬戸線高架化後】



【西北部：名鉄津島線交差点】

【専用部】名古屋第二環状自動車道(名二環) (単位:m)



【西南部：飛島大橋】

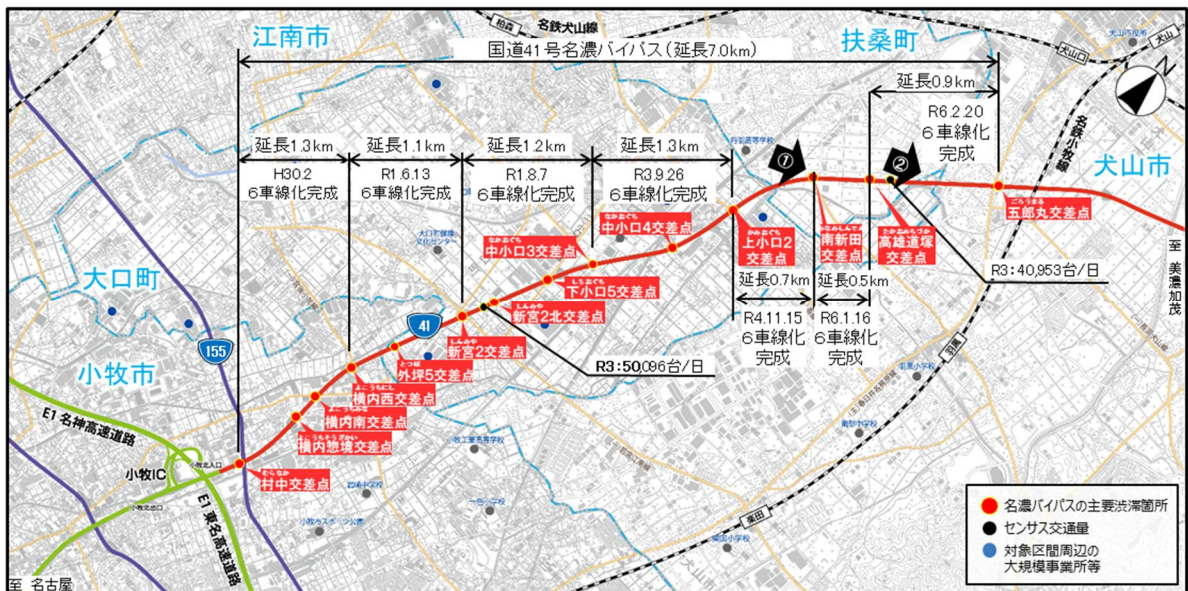
国道41号 名濃バイパス

国道41号名濃バイパスは愛知県名古屋市から岐阜県美濃加茂市へ至る主要幹線道路であり、その中で慢性的な交通渋滞が発生している愛知県小牧市村中～犬山市五郎丸間の延長7.0kmにおける、交通容量の拡大による渋滞緩和、高速道路インターへのアクセス性向上を目的とした事業です。

本事業は、暫定4車線開通している当該区間を6車線化するものであり、令和6年2月20日に全線6車線開通しました。引き続き、開通による効果検証や、歩道整備や電線共同溝工事などを推進します。

令和8年度は、調査設計（協議用資料作成等）、扶桑地区ほか改良工を推進

■位置図



【①南新田交差点付近の様子（開通後）（R6.3）】



【②高雄道塚～五郎丸間の様子（開通後）（R6.3）】

国道247号 西知多道路（東海ジャンクション）

国道247号西知多道路（東海ジャンクション）は、中部国際空港と名古屋港及び高規格幹線道路を連絡し、名古屋都市圏専道網を形成することで、国道247号の渋滞を緩和し、物流効率化によるものづくり産業の支援を目的に計画された道路です。

令和8年度は、橋梁詳細設計、調査設計（協議用資料作成等）、荒尾地区ほか改良工、Hランプ橋ほか橋梁上部工、Eランプ橋ほか橋梁下部工を推進

■位置図



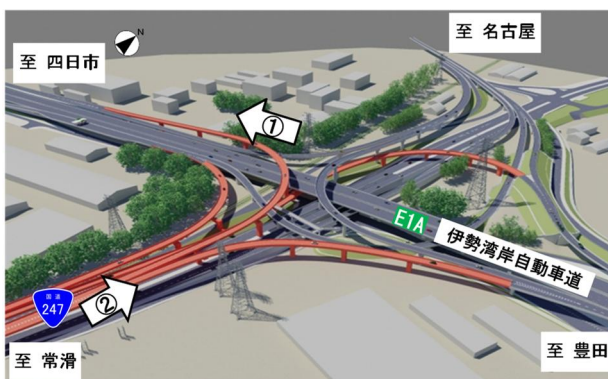
写真①【東海 JCT Hランプ橋 東→西方向】(R7.2)



写真②【東海 JCT 下部工 (PH8)】(R7.1)



写真③【荒尾 OFFランプ橋 南→北方向】(R6.12)



【東海ジャンクション部】(完成イメージ)



【荒尾地区】(完成イメージ)

国道22号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）

国道22号名岐道路（一宮～一宮木曾川）は、一宮市丹陽町九日市場を起点とし、愛知県一宮市大毛池田に至る延長6.9kmの高規格道路であり、一宮東出口から一宮木曾川ICまでの自動車専用道路（高架道路）を整備します。

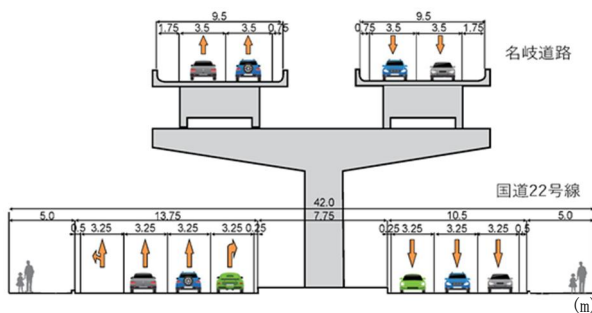
本事業の整備により、名古屋と岐阜地域を最短で結ぶ時間信頼性の高いネットワークを構築し、日本の航空宇宙産業の拡大・強化を支援します。また、世界に誇る観光地へのアクセス向上により観光産業の活性化を支援するとともに、渋滞緩和により、経済活動や交通安全性の向上に貢献することを目的に計画された道路です。

令和8年度は、道路予備設計、道路詳細設計、地質調査、調査設計（協議用資料作成等）を推進

■位置図



■標準横断面図



【国道22号の渋滞状況】

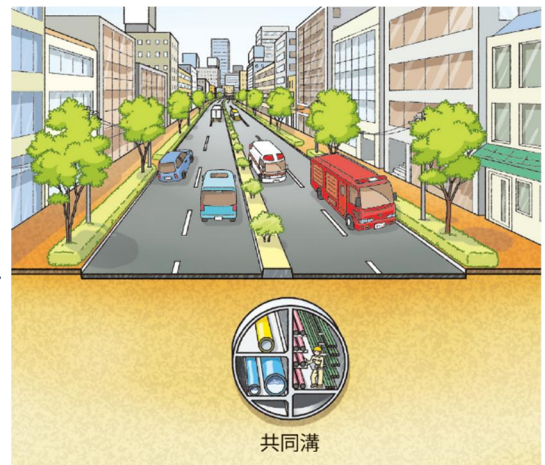


国道302号 東部共同溝

共同溝は、ガス、上下水道、電気・電話などのライフラインをまとめて道路の路面下に収容する施設で、共同溝を設置することでこれらの公益企業者による道路の掘り返し工事を無くし、円滑な交通環境を確保すると共に、地震時におけるライフラインの安全性を向上させる事ができます。

令和8年度は、本体工事、調査設計を推進

■共同溝の整備イメージ



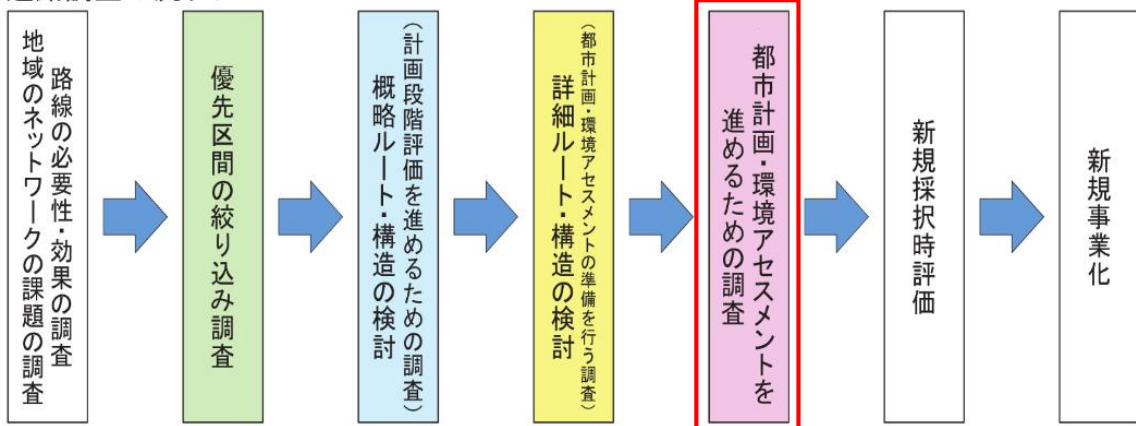
3. 主な調査路線

一宮西港道路

一宮西港道路は、東海北陸自動車道 一宮JCTと伊勢湾岸自動車道を結ぶ区間の高規格道路であり、令和4年3月の令和3年度名古屋都市圏環状機能検討会のとりまとめを踏まえ、令和4年度より、国において、一宮西港道路の概略ルート・構造の検討に着手し、令和7年度に対応方針を決定しました。

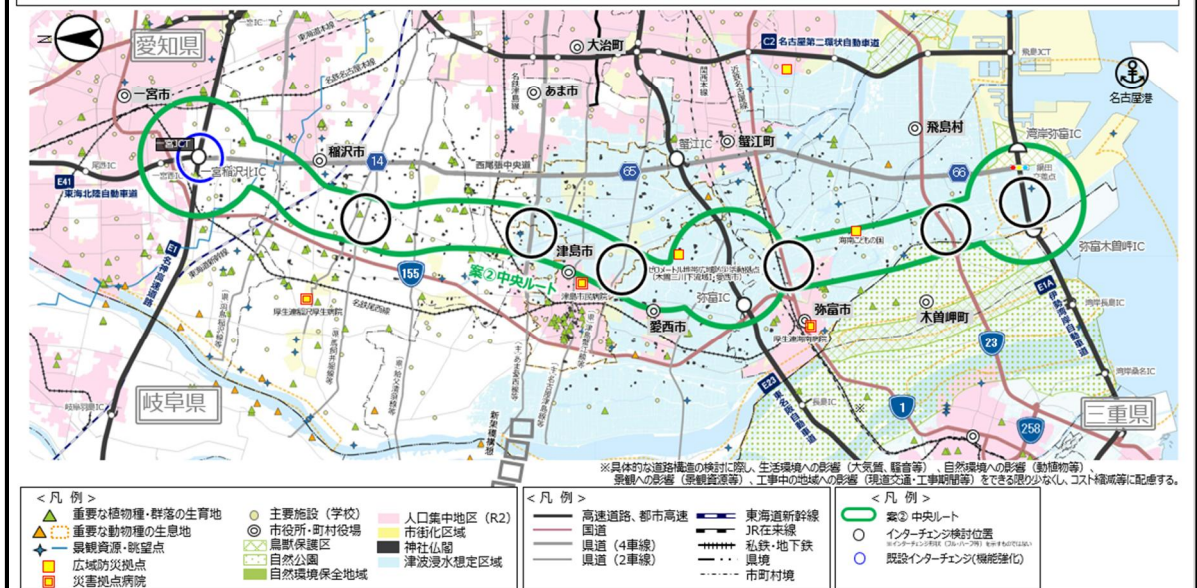
令和8年度は、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施

<道路調査の流れ>



<対応方針>

- 海部地域の概ね中央部を経過することで名古屋港を含む地域全体の速達性、定時性の向上、災害時における信頼性の高い道路ネットワークの確保、土地利用の高度化、地域と連携した開発の促進による持続可能な地方形成が最も期待できる【案② 中央ルート】とする。
- インターチェンジについては、広域物流交通を担う主要幹線道路との接続を確保することにより相互利用のしやすさに配慮するとともに、名古屋港等の産業拠点とのアクセス性に配慮する。また、地域の主要な道路との接続を確保するとともに、各居住圏域、市役所や防災拠点とのアクセス性に配慮する。
- 一宮西港道路の効果をより高めるため、地域における周辺道路整備や周辺開発等と十分に連携する。



4. その他取り組み「けんせつ小町・チーム“愛”」



愛知県道事務所では、建設業担い手確保の一環として、女性技術者の建設業での活躍促進に取り組みており、建設会社、設計会社、行政の女性技術者から構成される「けんせつ小町・チーム“愛”」を結成し、建設業の職場環境や体制・制度の拡充を目的とした勉強会や学生への就職支援活動等を展開しています。

令和8年度も、男女を問わないすべての人が働きやすい環境についての意見交換などを実施し、継続的に活動していきます。

チーム“愛”の取り組み

平成28年度 働く環境（主にハード面）の改善に関する取り組み

- ・現地調査・意見交換を経て「**提案書**」まとめ
- ・提案書に基づいた取り組み実施

結成当時メンバー：16名

平成29年度～ 更なる女性活躍、担い手確保に向けた取り組み

- ・働き方改革に繋がるi-Construction事例勉強会

平成30年度～ すべての人が長く働ける建設業を目指した取り組み

- ・建設系学生への入職に向けての支援活動（建設技術フェア）

令和元年度 すべての方が長く働ける建設業を目指した取り組み

- ・意見交換を経て「**意見集**」とりまとめ

令和2年度 すべての方が長く働ける建設業を目指した取り組み

- ・「**意見集**」が完成
- ・「**意見集**」を中部地方整備局長に手交

令和4年度～ すべての人が長く働ける建設業を目指した取り組み

- ・産×官×学の取り組みの一環として大学との連携
- ・現場見学及び勉強会の実施（継続）

令和7年度 すべての方が長く働ける建設業を目指した取り組み

- ・「**意見集レビュー**」の発行
- ・建設系学生等への入職支援（継続）
- ・産×官×学の取り組みの一環として大学との連携（継続）
- ・現場見学及び意見交換会の実施（継続）

令和7年度メンバー：82名

令和8年度 すべての方が長く働ける建設業を目指した取り組み

- ・建設系学生等への入職支援（継続）
- ・産×官×学の取り組みの一環として大学との連携（継続）



H28.9.1 チーム“愛”結成



愛知県副知事との意見交流会



建設技術フェア2025n中部



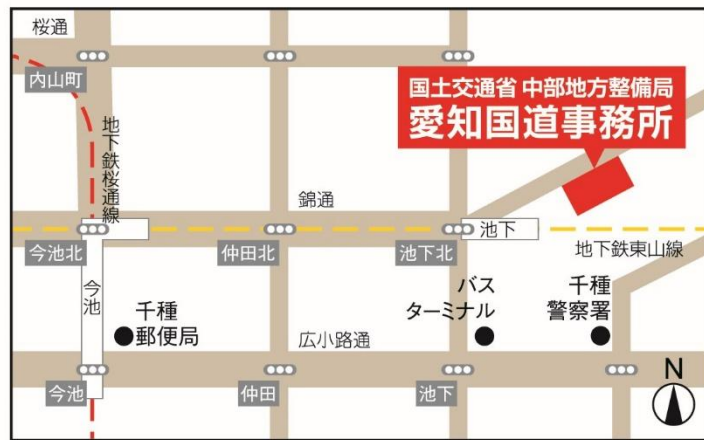
学生との意見交換



DX技術を活用した現場を見学



レビュー集作成に向けた意見交換



国土交通省中部地方整備局 愛知国道事務所

〒464-0066 名古屋市千種区池下町2-62 TEL.052-761-1191(代)
<https://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/>



愛知国道事務所 公式 X
@mlit_aikoku



YouTube

